

地域交通ネットワークの維持・確保 に対する長野県の取組について

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク
第12回知事会合資料（平成30年7月11日）



しあわせ信州

基本目標

確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～

ポイント

- 「学びと自治の力」を推進エンジンに政策を展開
- SDGs（持続可能な開発目標）を意識
- 中長期的に取り組むチャレンジプロジェクト

など



政策推進の6つの基本方針

学びの県づくり

産業の生産性が高い県づくり

人をひきつける快適な県づくり

いのちを守り育む県づくり

誰にでも居場所と出番がある県づくり

自治の力みなぎる県づくり

「学びと自治の力」が
推進エンジンとなって
政策を展開

○生活を支える地域交通の確保

公共交通網の確保等により、
持続可能で快適な交通環境を確保

- ◆設置の目的： 交通事業者の環境悪化、運転免許返納者増加等の状況を踏まえ、県が地域交通について主体的に関与していく方策を検討
- ◆部会の構成： 生活交通部会、観光交通部会（2部会）
- ◆参集範囲： 交通関係者・行政のほか、ICTなどの学識経験者、福祉・商工関係者、物流関係者など約40機関で構成
- ◆開催状況： 平成29年5月～平成30年3月 計7回開催
※その他 貨客混載や交通系ICカードなど、関係者との個別打合せ（勉強会等）も実施
⇒ 別紙「持続可能な地域交通ネットワーク構築の取組み」参照
- ◆現在の状況： 検討を深掘りするため、4つのワーキンググループを設置
 - ①バスユーザー獲得 ②タクシー利活用促進
 - ③ヒト・モノ混載促進 ④交通系ICカード普及

新 ICT技術を活用した交通システム

バスロケーションシステム構築

- ・バス利用時の不安を解消

◆観光・交通案内アプリ
信州ナビを活用



県内共通交通系ICカード導入

- ・10カード利用可
- ・地域独自サービス設定可

ビッグデータ集積・分析

- ・移動の発着地、時間帯
- ・性別・年齢層
- ・時間帯別ヒートマップなど

ニーズ把握、行動予測に活用
幅広い分野でEBPMに活用

新 タクシーへの新たな支援

ユニバーサルデザイン タクシー導入支援

- ・定期券タクシー、貨客混載などの
取組を行う事業者を支援

従来型の支援

地域鉄道の安全性向上等支援

運行欠損費支援

県有民営方式でのバス購入等

地域交通確保に向けた交通の最適化

- ・地域の交通モードのベストミックス
- ・広域単位での連携・調整

その他（自動運転等の検討）

- 中山間地及び観光地への自動運転技術試験導入
- ドローンによる物流支援の仕組みの検討
- 市町村のまちづくり × ・パーク&ライド
・シェアサイクル など

先進事例との
連携・
情報共有・
横展開